

令和4年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どの学年も着実に力をつけ、成果を得られているといえる。
- ・2、3学年ともに、「教えあい」「ペアワーク」などの活動が積極的な学びにつながり、各領域の高い達成率となって表われている。また、小テストなどの実施が、成果に繋がっているといえる。

(2) 課題

- ・1学年は【小数・分数の計算】の中の「小数第一位×小数第一位の計算」、「帯分数を含む乗除混合の計算」、【平均・場合の数】では達成率目標値を大きく下回っている。
- ・2学年は【正の数・負の数】の中の「四則混合の計算」では達成率目標値を大きく下回っている。【データの散らばりと代表値】は達成率目標値を下回っている。
- ・3学年は【1次関数】、【証明】の中の「直角三角形の合同条件」では達成率目標値を下回っている。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） △目標値を上回る ≍目標値と同等 ▼目標値を下回る

	令和3年度結果	令和2年度結果	令和元年度結果
第1学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △	/	/
第2学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △ (第1学年時)	/
第3学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △ (第2学年時)	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △ (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値と同等の成果が得られている。	目標値を越えており、定着していることが伺える。	目標値を越えており、定着していることが伺える。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく越えており、定着していることが伺える。	目標値を大きく越えており、定着していることが伺える。	目標値を大きく越えており、定着していることが伺える。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく越えており、定着していることが伺える。	目標値を大きく越えており、定着していることが伺える。	目標値を大きく越えており、定着していることが伺える。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元テストや小テストを定期的に行い、問題練習を増やしていく。	解答を伝えるように記述することを指導していき、課題として取り入れる。	計画的に学習に取り組めるように、課題や期限を明確にして指導していく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テストによる確認と、タブレットドリルを活用したくり返し練習を行っていく。	思考の道筋をしっかりと表現できるよう、解答の記述についての指導に力を入れていく。	タブレットドリルを活用し、自ら計画的に学習に取り組めるよう指導していく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
週に1回程度、小テストによる確認を行い、反復学習を行っていく。基礎・基本の定着を図り、問題を解く力を身につけさせるために、プリントなどの演習問題を増やす。	既習事項を復習しながら丁寧に説明し、解き方だけでなく、その構造の理解を深められるようにしていく。考えを書く・発表する機会を増やす。	授業中に「教え合い」や「ペアワーク」を取り入れ、自ら授業に参加する雰囲気作りをする。タブレットドリルを効果的に活用する。